

ノドグロ一夜干しの発送作業をするプローバ島根の社員。浜田市黒川町、プローバ黒川店。



プローバ島根が始めたインターネット通信販売事業で販売するノドグロ一夜干し。



発送拠点を整備したプローバ黒川店  
 =浜田市黒川町

## プローバ島根が異業種参入

浜田、江津両市でパチンコ店6店舗を展開する㈱プローバ島根(浜田市浅井町)が浜田漁港ブランド魚ノドグロ(アカムツ)の一夜干しのインターネット通信販売事業に乗り出した。パチンコ事業が地域の人口減とコロナ禍で売り上げが落ち込む中、浜田市のスパー運営会社や水産卸会社など計4社の協力を得て異業種参入。鮮魚サイズで220〜250gと、生食でも流通する大きさにこだわり、他社とのすみ分けを狙う。

## ノドグロ一夜干しの ネット販売事業展開

プローバ島根は、㈱プローバホールディングス(広島市安佐南区、平本直樹社長)のグループ会社として2015年に設立。㈱中央商事(浜田市朝日町)などからパチンコ店の事業譲渡を受け、営業している。島根県西部の人口減に加え、コロナ禍で客足が鈍った影響で、20年8月期(19年9月〜20年8月)の売上高は、前年比で約3割減の29億8900万円だった。

インターネット通信販売事業は、中央商事と関係が深いスパー「タップス」を展開する㈱油屋(浜田市田町)の支援で20年9月から準備。鮮魚青果卸売業の㈱やなぎ水産(同市原井町)から商品供給、看板製作やイベント設置の㈱装巧舎(同市浅井町)から梱包資材の供給、ウェブ制作の㈱シマネプロモーション(同市牛市町)から通販サイト構築で協力を得て、1月12日にスタートした。

プローバ黒川店(浜田市黒川町)の2階倉庫(80平方メートル)を約200万円かけて改修し、発送拠点を整備。専従スタッフ2人を配置した。商品はノドグロ干物のみで、いずれも送料別税込みで、1枚3800円、2枚6800円、3枚9800円の3種類。売り上げ目標は8月末までに500万円とし、5月をめぐりに魚種を増やす計画にしている。

浜田漁港の水揚げ量減少で漁業も厳しい現状にあることを踏まえ、プローバ島根の赤星清社長(64)は「パチンコ店来店者に水産関係者も多く、新規事業は地域貢献の色彩も濃い。地域を盛り上げる一助にしたい」と意気込んでいる。(村上栄太郎)

2021年3月2日発行

山陰経済ウィークリーへ掲載

※転載については山陰中央新報社の許諾を得ています。